

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 星医療酸器
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 星 幸男
 (氏名) 岡田 利夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-3899-2101
 平成24年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,220	3.0	537	9.6	549	10.1	330	16.5
24年3月期第2四半期	4,098	2.6	490	△0.5	498	△3.2	284	△6.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 305百万円 (12.1%) 24年3月期第2四半期 272百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	99.97	—
24年3月期第2四半期	85.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,521	8,177	69.6
24年3月期	11,895	7,981	65.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,015百万円 24年3月期 7,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	5.3	1,190	5.9	1,200	5.7	720	8.3	216.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	3,601,681 株	24年3月期	3,601,681 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	297,936 株	24年3月期	277,915 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	3,308,791 株	24年3月期2Q	3,323,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による復興需要の影響から、景気は緩やかながら回復してはいましたが、欧州諸国の財政危機による世界経済の減速や、原油高・電力問題によるエネルギーコストの上昇、並びに長期化する円高等により、企業の業況感は慎重姿勢で横ばい圏内の動きに終始しました。

当医療用ガス業界においては、引続き業界内における競争が激化しているうえ、電気料金値上等を反映した仕入価格の上昇基調に加え、本年4月の診療報酬改訂時に薬価が概ね据置かれた点や、医療機関経営の効率化に伴う環境の変化が大きい点等、当社を取巻く環境は引続き厳しいものとなっております。

このような経営環境のもと、当社グループ各社は、今後当社収益への寄与度が高まると想定される在宅医療関連事業と介護福祉関連事業のさらなる充実と、お客様のお役に立つ、新製品やサービスの提供を開始するとともに、新規開拓に取組み、生産性の向上と業務の効率化を図り、企業価値の向上と社会貢献に注力しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,220百万円(前年同四半期比3.0%増)、経常利益が549百万円(前年同四半期比10.1%増)となり、四半期純利益が330百万円(前年同四半期比16.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「介護福祉関連レンタル事業」について量的な重要性が増したため、「介護福祉関連事業」として区分表示することに変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①医療用ガス関連事業

当部門の需要は、緩やかながら減少しており、診療報酬改訂後の薬価が概ね据置かれたうえ、医療機関経営の厳しさは依然として継続しております。

また、販売価格に関するお客様からのご要望も多様化しつつあり、それに伴って業者間の販売競争が一層厳しくなっております。

このような環境を踏まえ、新規医療機関取引の獲得と、既存医療機関への高付加価値サービスの訴求を行っておりますが、売上高は1,612百万円(前年同四半期比6.2%減)、セグメント利益は176百万円(前年同四半期比31.6%減)となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国が在宅医療の充実に重点を置いた政策を推進する中、以前より当社の重点事業の一つとして推進し、その一環として患者様のニーズにお応えすべく、画期的な通信技術を用い、手元の端末による遠隔操作は勿論、警報装置や総合的な情報の管理機能を搭載し、ご利用者様の日常生活を将来にわたってトータルサポートすることを目的に開発した、在宅酸素療法用酸素供給装置に付属する製品(製品名:パレッツ)の販売を、本格的に開始致しました。

同製品拡販のため医療機関内での勉強会の開催や、呼吸器ケアリハビリテーション学会での積極的な活動を行い、人工呼吸器やCPAP(持続陽圧呼吸療法-閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器)と併せ、当社の知名度の向上と販売強化に努めております。

これらの結果、売上高は1,582百万円(前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益は289百万円(前年同四半期比33.3%増)となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、各医療機関からのメンテナンス部門の受注が安定した売上を確保しており、併せて設備更新を計画している医療機関等に対する営業活動により、相応の受注を果たしております。

これらの結果、売上高は415百万円(前年同四半期比39.4%増)、セグメント利益は45百万円(前年同四半期比1236.5%増)となりました。

④介護福祉関連事業

当部門の介護福祉関連事業は、在宅及び病院・医療施設への販売・レンタルが堅調に推移しており、品揃えを増加させるべく「足漕ぎ車椅子」(歩行困難な方も、自身の両足でペダルを漕ぐことにより活動範囲が高まり、リハビリの効果も期待出来る製品—製品名:プロファンド)の取扱を本格的に開始する等、当社グループの知名度の向上と売上に、大きく貢献するべく営業努力を続けております。

これらの結果、売上高は212百万円(前年同四半期比24.5%増)、セグメント利益は23百万円(前年同四半期比649.1%増)となりました。

⑤有料老人ホーム関連事業

東京都杉並区阿佐ヶ谷にて運営中の有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」は、新たな入居者も着実に確保しておりますが、ご逝去による退去者もあることから、入居率の上昇度合はやや緩慢な状況であります。但し、本施設自体の充実度並びにケアサポート体制の高さに関しては評価を得ていることから、従来から実施している種々の広報活動や、居宅支援事業者(ケアマネジャー)、医療機関(ソーシャルワーカー)との連携等による入居者募集活動をより一層強化して、ご利用者様とご家族の悩みや不安にお応えしつつ、稼働率の向上に向けた努力を続けております。

しかしながら、入居率回復が予定を下回って推移した結果、売上高は93百万円(前年同四半期比4.1%増)、セグメント損失は34百万円(前年同四半期比セグメント損失31百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は11,521百万円(前連結会計年度末比374百万円減)となりました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が90百万円、受取手形及び売掛金が259百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,343百万円(前連結会計年度末比570百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が318百万円、未払法人税等が91百万円、リース債務が78百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は8,177百万円(前連結会計年度末比196百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少66百万円、自己株式の取得による減少42百万円及び当第2四半期純利益330百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より90百万円減少し5,323百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は387百万円(前年同四半期は738百万円の獲得)となりました。

これは、税金等調整前第2四半期純利益が548百万円となったこと、減価償却費の計上218百万円、売上債権の回収259百万円があったこと及び仕入債務の減少318百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は160百万円(前年同四半期は163百万円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出112百万円があったこと、投資有価証券の取得による支出38百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は318百万円(前年同四半期は266百万円の使用)となりました。

これは、リース債務の返済による支出150百万円があったこと、長期借入金の返済による支出58百万円があったこと、配当金の支払66百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表(平成24年8月6日)の通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,012千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,414,341	5,323,365
受取手形及び売掛金	1,778,301	1,518,836
たな卸資産	217,781	227,765
繰延税金資産	71,702	72,270
その他	38,152	57,878
貸倒引当金	△10,369	△8,285
流動資産合計	7,509,910	7,191,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	616,386	597,924
土地	1,851,903	1,870,903
その他(純額)	775,092	711,369
有形固定資産合計	3,243,382	3,180,197
無形固定資産		
投資その他の資産	124,760	110,792
投資有価証券	496,966	466,083
その他	522,766	574,407
貸倒引当金	△2,184	△2,200
投資その他の資産合計	1,017,548	1,038,289
固定資産合計	4,385,692	4,329,279
資産合計	11,895,602	11,521,110
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594,469	1,276,328
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
未払法人税等	311,133	219,351
賞与引当金	108,400	107,200
その他	723,676	689,280
流動負債合計	2,855,315	2,409,796
固定負債		
長期借入金	235,319	176,501
役員退職慰労引当金	443,657	443,987
長期預り保証金	11,657	7,154
その他	368,003	305,908
固定負債合計	1,058,637	933,551
負債合計	3,913,953	3,343,348

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	7,324,514	7,588,809
自己株式	△467,225	△509,872
株主資本合計	7,807,177	8,028,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,113	△12,975
その他の包括利益累計額合計	13,113	△12,975
少数株主持分	161,358	161,912
純資産合計	7,981,649	8,177,761
負債純資産合計	11,895,602	11,521,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,098,604	4,220,809
売上原価	1,861,695	1,972,071
売上総利益	2,236,909	2,248,738
販売費及び一般管理費	1,746,412	1,710,986
営業利益	490,496	537,752
営業外収益		
受取利息	4,997	4,862
受取配当金	6,480	6,922
その他	2,753	4,368
営業外収益合計	14,230	16,153
営業外費用		
支払利息	5,825	4,858
営業外費用合計	5,825	4,858
経常利益	498,901	549,047
特別利益		
投資有価証券売却益	600	—
特別利益合計	600	—
特別損失		
固定資産除却損	796	152
特別損失合計	796	152
税金等調整前四半期純利益	498,705	548,895
法人税等	209,149	216,614
少数株主損益調整前四半期純利益	289,555	332,281
少数株主利益	5,547	1,511
四半期純利益	284,007	330,769

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289,555	332,281
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△17,356	△27,046
その他の包括利益合計	△17,356	△27,046
四半期包括利益	272,199	305,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,479	304,680
少数株主に係る四半期包括利益	4,719	553

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	498,705	548,895
減価償却費	215,198	218,684
のれん償却額	6,500	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	30,060	330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,785	△2,067
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,041	△1,200
投資有価証券売却損益(△は益)	△600	—
受取利息及び受取配当金	△11,477	△11,785
支払利息	5,825	4,858
有形固定資産除売却損益(△は益)	796	152
売上債権の増減額(△は増加)	234,373	259,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,453	△9,984
仕入債務の増減額(△は減少)	△88,105	△318,140
その他	△44,597	348
小計	851,305	689,556
利息及び配当金の受取額	11,129	12,074
利息の支払額	△5,646	△4,609
法人税等の支払額	△118,232	△310,654
法人税等の還付額	213	1,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,769	387,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△114,523	△38,433
投資有価証券の売却による収入	2,100	—
有形固定資産の取得による支出	△45,288	△112,568
無形固定資産の取得による支出	△605	—
長期貸付金の回収による収入	8,451	3,551
その他の支出	△15,824	△13,361
その他の収入	1,971	751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,719	△160,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△141,471	△150,618
長期借入金の返済による支出	△58,818	△58,818
自己株式の取得による支出	△90	△42,646
配当金の支払額	△66,103	△66,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△266,484	△318,590
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308,565	△90,975
現金及び現金同等物の期首残高	4,653,811	5,414,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,962,377	5,323,365

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,719,531	1,518,725	298,480	170,649	90,177	3,797,564	301,040	4,098,604
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	8,285	—	—	8,285	—	8,285
計	1,719,531	1,518,725	306,765	170,649	90,177	3,805,849	301,040	4,106,889
セグメント利益 又は損失(△)	258,532	216,881	3,409	3,135	△31,687	450,271	40,707	490,979

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,271
「その他」の区分の利益	40,707
セグメント間取引の消去	△482
四半期連結損益計算書の営業利益	490,496

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,612,895	1,582,523	415,941	212,440	93,893	3,917,694	303,115	4,220,809
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	41,610	—	—	41,610	—	41,610
計	1,612,895	1,582,523	457,551	212,440	93,893	3,959,304	303,115	4,262,419
セグメント利益 又は損失(△)	176,780	289,068	45,563	23,490	△34,276	500,625	41,530	542,156

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	500,625
「その他」の区分の利益	41,530
セグメント間取引の消去	△4,403
四半期連結損益計算書の営業利益	537,752

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1 四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「介護福祉関連レンタル事業」について量的な重要性が増したため、「介護福祉関連事業」として、区分表示することに変更しております。

なお、前第2 四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2 四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。